令和７年度事業報告

第１　事業概要

令和７年度は、国際情勢の不安定化や円安等の影響により、依然として飼料や資材価格の高止まりが畜産経営を圧迫するとともに、消費者の節約志向の高まり等から買い控えによる消費低迷も常態化しつつあります。担い手の高齢化や労働力不足さらには温暖化の進行など、畜産業全般の環境悪化が進む中、経営体数及び飼養頭羽数の減少も続いています。

低迷していた黒毛和種肉用子牛価格は、子牛の生産・出荷頭数の減少等を背景に急激に回復し８年３月の全国平均価格は 842 千円まで高騰しました。回復基調にあった枝肉価格についても九州ブロックにおける８年３月の肉用牛１頭当たりの標準的販売価格が 1,257 千円と上昇したものの、肥育経営においては素牛価格の高騰による収支悪化が大きな問題となっています。

家畜衛生の分野では、７年 11 月に福岡県八女市で野生いのししの豚熱感染が確認されたことを受けて本県も豚熱経口ワクチンの散布推奨地域に指定され、緊急ワクチン散布を行いました。さらには、８年３月に多良木町で県内初となる野生いのししの感染が確認されたことから、今後は定期散布を実施することとしています。

今年度熊本県畜産協会は、こうした畜産を取り巻く状況を踏まえ、関係機関の協力を得ながら各種事業を推進して参りました。

具体的には、７年度から新たな業務対象年間となった肉用子牛生産者補給金制度や肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に係る基金造成・管理等の業務を円滑に実施しました。

また、個別農家の経営技術指導や資金対応、家畜自衛防疫促進協議会等と連携した予防注射（延べ約 167 千頭）、農業団体と連携した家畜の登記・登録（約 33 千頭）の実施に加え、県産畜産物の消費拡大活動にも力を入れました。

機械等の導入に関しては、畜産クラスター事業やＩＣＴ化等機械装置等導入事業による支援（269 件、約 5 億 15 百万円）を、肉用牛の導入・更新に関しては、肉用牛経営安定対策補完事業や優良繁殖雌牛更新加速化事業などによる支援（692 頭、約 69 百万円）を行いました。

さらに、九州沖縄農業研究センター等と協力したコントラクター組織の収益性等に関する調査分析や、県と協力した鳥インフルエンザ及び豚熱を想定した防疫演習を実施しました。

熊本県畜産協会は、今後とも国、県、中央団体及び会員団体と連携しながら、安定した組織運営と積極的な事業取組を行って参ります。

第２　法人の状況

１　会員に関する事項

区　　分	６年度末	入　　会	退　　会	７年度末	備　　考
会 員 数	６８	２	１	６９	

２　役職員に関する事項

（１）役員の員数

区　　分		６年度末 現　　在	７ 年 度 就　　任	７ 年 度 辞　　任	７年度末 現　　在	備　考
役員	常勤理事	１	０	０	１	
	理　　事	１８	７	５	２０	外部理事１
	監　　事	４	２	２	４	外部監事１
	計	２３	９	７	２５	

（２）職員の員数

区　分	６年度末 現　　在			７年度 採　　用			７年度 退　　職			７年度末 現　　在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
職　員	12	8	20	1	0	1	1	0	1	12	8	20
嘱　託	3	10	13	0	0	0	1	0	1	2	10	12
臨時 職員	2	0	2	1	1	2	0	0	0	3	1	4
計	17	18	35	2	1	3	2	0	2	17	19	36

3　役員名簿

公益社団法人熊本県畜産協会　役員名簿

令和8年3月31日

役職名	氏名	所属団体及び役職
会　長	和田　次則	熊本県畜産農業協同組合　代表理事組合長
副会長	丁　道夫	熊本県経済農業協同組合連合会　代表理事会長
副会長	山本　健二	熊本県酪農業協同組合連合会　副会長理事
専務理事	上村　佳朗	学識経験者
理　事	荒木　義行	合志市長（市長会）
理　事	荒牧　弘幸	元熊本県畜産農業協同組合連合会　代表理事会長
理　事	江藤　茂	一般社団法人熊本県獣医師会　理事
理　事	岡村　宏	明治アニマルヘルス株式会社　研究員
理　事	鍬柄　茂徳	熊本県中央地区家畜自衛防疫促進協議会　会長
理　事	下田　孝文	元熊本県畜産農業協同組合連合会　理事
理　事	髙橋　周二	南小国町長（町村会）
理　事	多久　嘉秀	熊本県経済農業協同組合連合会　代表理事常務
理　事	千原　勝也	公益社団法人全国和牛登録協会熊本県支部　評議員
理　事	徳永　浩美	熊本県農林水産部生産経営局長
理　事	中西　義信	肥後開拓農業協同組合　代表理事組合長
理　事	橋本　明博	全国共済農業協同組合連合会熊本県本部　本部長
理　事	服部　育男	東海大学農学部　動物科学科長
理　事	松本　道夫	一般社団法人熊本県配合飼料価格安定基金協会　理事長
理　事	守田　憲史	熊本県農業共済組合　組合長理事
理　事	森本　完一	錦町長（町村会）
理　事	山本　浩二	熊本県農業協同組合中央会　常務理事
監　事	岩見　誠也	熊本県酪農業協同組合連合会　監事
監　事	大林　裕之	大林税理士事務所
監　事	梶原　哲	熊本県経済農業協同組合連合会　代表理事専務
監　事	原山　寅雄	元熊本県畜産農業協同組合連合会　理事

理事21名　監事4名

４　役員会等に関する事項

（１）定時総会の開催

開 催 月 日・開 催 場 所		令和７年６月２３日　熊本県畜産会館
総 会 日 現 在 会 員 数（A）		７０会員
出席会員数	本人出席会員数（B）	４０会員
	委任状による出席会員（C）	３０会員
	出席会員数（D）	７０会員　（出席率 (B+C)/A　100%）
	賛成会員数（E）	７０会員　（賛成率 E/D　100%）

（報告事項）

令和６年度事業報告

（議決事項）

第１号議案　　令和６年度計算書類（財産目録を含む）の承認について
貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表
財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録
第２号議案　　令和７年度会費の額及び徴収方法について
第３号議案　　令和７年度役員報酬額について
第４号議案　　令和７年度借入金の最高限度額並びに借入先について
第５号議案　　公益社団法人熊本県畜産協会定款の一部改正について
第６号議案　　役員の改選について
＜付帯議決＞
継続事業における事業費の増減及び緊急を要する事業については、会長の専決により実施し、次回理事会での報告をもって追認できるものとする。

○議決の結果：全議案承認

（その他）

令和７年度事業計画及び収支予算について

（２）令和７年度第１回臨時総会の開催

開 催 月 日・開 催 場 所	令和７年９月１０日　熊本県畜産会館
総 会 日 現 在 会 員 数（A）	７０会員
出席会員数（B）	０会員
書面による出席会員数（C）	７０会員　(出席率 (B+C)/A　100%)
賛成会員数（D）	７０会員　(賛成率 D/(B+C)　100%)

(議決事項)

第１号議案　　役員の補欠選任について

（３）令和７年度第２回臨時総会の開催

開 催 月 日・開 催 場 所	令和８年３月１３日　熊本県畜産会館
総 会 日 現 在 会 員 数（A）	６９会員
出席会員数（B）	１会員
書面による出席会員数（C）	６７会員　(出席率 (B+C)/A　99%)
賛成会員数（D）	６８会員　(賛成率 D/(B+C)　100%)

(議決事項)

第１号議案　　役員の補欠選任について

（4）役員会の開催

区　分	開 催 月 日	主 要 な 議 決 事 項	出席状況等
監査	令和7年5月28日	令和6年度事業及び決算監査	監　事 2/4人
第1回 理事会	令和7年6月23日	第１号議案　令和６年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について 第２号議案　令和７年度役員報酬額(案)の承認について 第３号議案　令和７年度借入金の最高限度額並びに借入先（案）の承認について 第４号議案　令和７年度資金運用計画等について 第５号議案　八代市の入会について 第６号議案　令和７年度会費の額及び徴収方法（案）の承認について 第７号議案　公益社団法人熊本県畜産協会定款の一部改正(案)の承認について 第８号議案　公益社団法人熊本県畜産協会育児休業規程の制定について 第９号議案　公益社団法人熊本県畜産協会介護休業規程の制定について 第10号議案　公益社団法人熊本県畜産協会就業規則の一部改正について 第11号議案　電算機器更新に係る契約の承認について 第12号議案　肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立金残額の取扱いについて 第13号議案　役員改選（案）の承認について 第14号議案　第５８回定時総会の開催及び提出議案について 職務の執行状況について 報告事項について	理　事 13/19人 監　事 3/4人

第１回 臨時理事会	令和7年6月23日	第１号議案　役付役員の互選について	理　事 19/21人 監　事 3/4人
第２回 臨時理事会 （みなし 理事会）	令和7年8月25日	提案事項１　役員の補欠選任候補者の件 提案事項２　令和７年度第１回臨時総会の開催及び提出議案について	理　事 全員合意 監　事 異議なし
第２回 理事会	令和7年11月5日	第１号議案　令和７年度事業計画の変更及び補正予算(案)の承認について 第２号議案　熊本県肉用牛情報データベース機能強化に係る契約の承認について 第３号議案　予防注射料金表の改定について 第４号議案　役員推薦枠の変更について 第５号議案　役付役員の互選について 職務の執行状況について 報告事項について	理　事 20/21人 監　事 4/4人
第３回 理事会	令和8年2月24日	第１号議案　令和８年度事業計画及び収支予算の承認について 第２号議案　予防注射料金の改定について 第３号議案　指定獣医師の承認について 第４号議案　令和８年度特別指定獣医師の承認について 第５号議案　公益社団法人熊本県畜産協会職員就業規則の一部改正について 第６号議案　公益社団法人熊本県畜産協会職員給与規程の一部改正について 第７号議案　公用車のリース契約について 第８号議案　役員の補欠選任(案)の承認について 第９号議案　令和７年度第２回臨時総会の開催及び提出議案について 職務の執行状況について	理　事 15/20人 監　事 1/4人

5　主要行事等に関する事項

年	月	日	内　　容	場　所
7	4	15	第1回中央打合せ会～16日	東京都
7	4	15	肉用牛経営安定対策補完事業全国会議	ﾘﾓｰﾄ
7	4	16	環境調和型持続的肉用牛生産体制推進事業に係る第１回オンライン情報交換会	ﾘﾓｰﾄ
7	4	18	畜産ICT事業・楽酪GO事業全国推進会議	東京都
7	4	18	熊本県畜産関係事業説明会	熊本市
7	4	21	地域農場HACCP認証支援事業　農場HACCP・畜産GAP研修会(農大)	合志市
7	4	21	日本養鶏協会次期理事等候補者に係る推薦会議	福岡県
7	4	22	熊本県養豚協会定期監査	熊本市
7	4	23	日本養鶏協会　家畜防疫互助基金支援事業に係る中央推進会議	ﾘﾓｰﾄ
7	4	24	畜産特別支援資金融通事業及び畜産経営体質強化資金対策事業担当者会議～25日	東京都
7	4	25	畜産ICT事業・楽酪GO事業に係る県内推進会議	熊本市
7	4	25	牛マルキン制度　無事戻しシステム操作説明会	ﾘﾓｰﾄ
7	5	2	家畜保健衛生関係事業推進会議	熊本市
7	5	12	日本あか牛登録協会定期監査	熊本市
7	5	15	畜産特別資金資金担当者説明会	熊本市
7	5	16	全国肉用牛振興基金協会　第11回肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議	ﾘﾓｰﾄ
7	5	16	中央地区家畜自衛防疫促進協議会総会	熊本市
7	5	20	熊本県産牛肉消費拡大推進協議会総会	熊本市
7	5	21	熊本県養豚協会総会及び第1回研修会	熊本市
7	5	22	農業制度資金担当者説明会	熊本市
7	5	22	熊本県畜産クラスター協議会総会　熊本県楽酪推進協議会総会	熊本市
7	5	22	生産者積立準備金等の返還に係る新統一電算システム操作説明会	ﾘﾓｰﾄ
7	5	26	全国和牛登録協会熊本県支部評議委員会	熊本市
7	5	28	畜産協会監事監査	熊本市
7	6	3	耕畜連携推進協議会総会	熊本市
7	6	5	畜産協会第1回理事会	熊本市
7	6	5	日本あか牛登録協会第１回理事会	熊本市
7	6	6	熊本県養鶏協会理事会・総会	熊本市
7	6	9	衛生指導部関係事業合同全国事業推進会議～10日	東京都
7	6	18	城南地区家畜自衛防疫促進協議会総会	人吉市
7	6	20	全国和牛登録協会総会	京都府
7	6	21	鶏病研究会熊本県支部定期総会	熊本市
7	6	23	畜産協会第58回定時総会・第1回臨時理事会	熊本市
7	6	23	日本あか牛登録協会通常総会・第2回理事会	熊本市
7	6	24	中央畜産会総会	東京都
7	6	24	天草地区家畜自衛防疫促進協議会総会	天草市
7	6	25	阿蘇地区家畜自衛防疫促進協議会総会	阿蘇市
7	6	25	専門能力強化研修（畜産）1回目	合志市
7	6	27	城北地区家畜自衛防疫促進協議会総会	山鹿市
7	6	27	熊本県獣医師会総会	熊本市

7	6	30	あか牛振興対策協議会総代会	大津町
7	6	30	飼料増産行動会議	ﾘﾓｰﾄ
7	6	30	熊本県野生いのしし・アフリカ豚熱防疫演習（実地）	熊本市
7	7	2	あか牛振興対策協議会代表者会議	熊本市
7	7	3	生乳の安全・安心の確保のための熊本県協議会	熊本市
7	7	4	日本あか牛登録協会熊本県支部監査	熊本市
7	7	16	くまもと黒毛和牛交流会、枝肉研究会	東京都
7	7	22	日本あか牛登録協会熊本県支部評議委員会（書面）	熊本市
7	7	23	熊本県飼料増産行動会議	合志市
7	7	24	令和７年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）に係るブロック会議	熊本市
7	7	25	畜産ICT事業・楽酪GO事業県推進会議	ﾘﾓｰﾄ
7	7	25	専門能力強化研修（畜産）2回目	合志市
7	8	1	鶏病研究会熊本県支部鶏病技術研修会	熊本市
7	8	7	食料システム法に関する九州ブロック説明会（九州農政局）	ﾘﾓｰﾄ
7	8	7	専門能力強化研修（畜産）3回目	人吉市・錦町
7	8	19	肉用牛経営安定対策補完事業に係る肉用牛ヘルパー組織強化推進検討委員会（第１回）	ﾘﾓｰﾄ
7	8	22	熊本県養豚協会女性部総会	熊本市
7	8	25	修学資金給付対象者選考委員会	熊本市
7	8	25	畜産協会第2回臨時理事会（みなし理事会）	熊本市
7	8	27	第41回阿蘇草原再生協議会	ﾘﾓｰﾄ
7	9	2	家畜畜産物衛生指導協会等九州ブロック協議会～3日	長崎県
7	9	3	夏季酪農大学	熊本市
7	9	3	熊本県農業コンクール審査会	熊本市
7	9	4	畜産特別資金等推進指導事業に係る西日本ブロック会議～5日	岡山県
7	9	4	肉用子牛生産者補給金制度に係る九州・沖縄ブロック会議～5日	福岡県
7	9	10	畜産協会第１回臨時総会（書面）	熊本市
7	9	11	九州・沖縄ブロック畜産協会等専務・事務局長会議～12日	福岡県
7	9	18	中央畜産会創立70周年記念　功労者表彰式・祝賀会	東京都
7	9	19	畜産特別資金等推進指導事業に係る担当者研修会	熊本市
7	9	30	経営指導従事者研修～2日	東京都
7	10	1	日本養豚協会九州沖縄ブロック会議及び熊本県養豚協会第2回研修会	熊本市
7	10	1	堆肥共励会審査会	合志市
7	10	6	農場HACCP構築農場認証更新審査（乳用牛・肉用牛）	菊池市
7	10	8	熊本県養豚協会第１回衛生部会プロジェクトミーティング	熊本市
7	10	9	九州・沖縄ブロック経営診断業務スキルアップ研修会～10日	鹿児島県
7	10	10	熊本県養鶏協会第４回家禽防疫研修会	熊本市
7	10	14	熊本県家畜伝染病防疫演習（机上）	熊本市
7	10	15	畜産・酪農研究部会	合志市
7	10	16	環境調和型持続的肉用牛生産体制推進事業に係る第２回オンライン情報交換会	ﾘﾓｰﾄ

年	月	日	内　　容	場　所
7	10	17	肉用牛改良関係会議	合志市
7	10	22	肉用牛経営安定対策補完事業に係る実務研修会及び肉用牛ヘルパー研修会～23日	東京都
7	10	23	家畜防疫互助基金支援事業に係る推進会議	熊本市
7	10	28	九州・沖縄ブロック人づくり会議～29日	長崎県
7	10	28	第1回家畜自衛防疫事業推進会議	熊本市
7	10	31	北海道あか牛枝肉共励会	北海道
7	10	31	第41回らくのうマザーズ枝肉共励会	菊池市
7	11	5	畜産協会第2回理事会	熊本市
7	11	7	第3回熊本県枝肉共進会	菊池市
7	11	7	畜産ICT/楽酪GO事業担当者会議	ﾘﾓｰﾄ
7	11	8	くまもと農業フェア～9日	合志市
7	11	18	肉用牛肥育経営安定交付金制度九州・沖縄ブロック会議～19日	沖縄県
7	11	26	地方特定品種の振興に係る全国会議～27日	高知県
7	11	28	全国優良畜産経営管理技術発表会	ﾘﾓｰﾄ
7	12	4	肉用牛環境対応収益性向上管理技術普及事業 第１回オンライン説明会	ﾘﾓｰﾄ
7	12	5	地方競馬全国協会監査	熊本市
7	12	7	令和7年度畜産フェア（佐賀競馬場）	佐賀県
7	12	16	地方競馬全国協会畜産振興補助事業に関する説明会	東京都
7	12	25	農大JGAP構築会議　自己点検	合志市
7	12	25	あか牛振興大会	益城町
8	1	15	肉用子牛生産者補給金制度に係る基礎研修	東京都
8	1	19	コンプライアンス職員研修会（1月19、22、26日）	熊本市
8	1	25	山口シネマ杯第67回花吹雪賞	佐賀県
8	1	26	酪農税務研修会	熊本市
8	1	27	酪農後継者育成塾	熊本市
8	1	29	農業コンクール表彰式	熊本市
8	1	30	馬講習会	大津町
8	2	2	水俣・芦北地域肉用牛飼養管理技術研修会～3日	芦北町
8	2	2	くろ牛改良組合講演会	熊本市
8	2	4	中央畜産会第2回中央打合せ会	ﾘﾓｰﾄ
8	2	4	畜産生産力生産体制強化対策事業推進会議（日本あか牛登録協会）	熊本市
8	2	5	令和７年度第1回クラスター全国推進会議	東京都
8	2	12	熊本県飼料増産行動会議	熊本市
8	2	18	熊本県養豚協会第2回衛生部会プロジェクトミーティング	熊本市
8	2	18	環境調和型持続的肉用牛生産体制推進事業に係る第３回オンライン情報交換会	ﾘﾓｰﾄ
8	2	20	飼料作物の生産・利用の地域モデル実証成果報告会	ﾘﾓｰﾄ
8	2	22	BAOO荒尾畜産フェア	荒尾市
8	2	24	畜産協会第3回理事会	熊本市
8	2	25	畜産リノベ資金等推進指導研修会	大分県
8	2	25	令和7年度堆肥共励会表彰式　スキルアップセミナー	熊本市

年	月	日	内　　容	場　所
8	2	26	第64回総括畜産コンサルタント資格試験	東京都
8	2	26	飼養管理技術向上セミナー	熊本市
8	2	27	農大JGAP更新審査	合志市
8	2	27	第2回家畜自衛防疫事業推進会議及び馬事業推進会議	熊本市
8	3	4	酪農後継者育成塾	熊本市
8	3	6	地域農場HACCP認証支援事業　普及推進協議会（研修会）	熊本市
8	3	11	褐毛和種枝肉情報分析利用委員会	熊本市
8	3	11	肉用牛環境対応収益性向上管理技術普及事業　第２回オンライン説明会	ﾘﾓｰﾄ
8	3	13	畜産協会第2回臨時総会	熊本市
8	3	14	地方競馬ミルクウィーク	佐賀県
8	3	17	農場HACCP構築農場認証維持審査（乳用牛）	合志市
8	3	20	佐賀競馬場現地研修	佐賀県
8	3	23	北海道あか牛振興協議会総会	北海道
8	3	26	日本あか牛登録協会第２回理事会	熊本市
8	3	30	畜産ICT/楽酪GO事業担当者会議	ﾘﾓｰﾄ

６　会費・出資・借入金等に関する事項

（１）令和７年度預り寄託金及び会費

（単位：千円）

番号	会　員　名	預り寄託金	会　費
1	熊本県	160,000	0
2	熊本県経済農業協同組合連合会	41,930	3,304
3	熊本県酪農業協同組合連合会	3,040	1,568
4	肥後開拓農業協同組合	100	462
5	熊本県農業共済組合	210	420
6	熊本県農業協同組合中央会	20,000	10
7	全国共済農業協同組合連合会熊本県本部	20,000	10
8	一般社団法人熊本県配合飼料価格安定基金協会	4,580	151
9	一般社団法人熊本県獣医師会	1,060	44
10	明治アニマルヘルス株式会社	0	100
11	熊本県畜産農業協同組合	90,590	2,031
12	熊本市農業協同組合	50	10
13	玉名農業協同組合	890	10
14	阿蘇農業協同組合	2,470	10
15	上益城農業協同組合	1,350	10
16	中央地区家畜自衛防疫促進協議会	5,590	360
17	城北地区家畜自衛防疫促進協議会	7,130	360
18	阿蘇地区家畜自衛防疫促進協議会	1,330	360
19	城南地区家畜自衛防疫促進協議会	2,860	360
20	天草地区家畜自衛防疫促進協議会	2,590	360
21	一般社団法人日本あか牛登録協会県支部	0	60
22	公益社団法人全国和牛登録協会熊本県支部	0	70
23	熊本県養豚協会	0	50
24	熊本県養鶏協会	0	50
25	熊本県養蜂組合	0	50
26	熊本市	740	10
27	宇土市	0	10
28	宇城市	400	10
29	美里町	700	10
30	荒尾市	20	10
31	玉名市	260	10
32	玉東町	100	10
33	和水町	580	10
34	南関町	440	10
35	長洲町	20	10
36	山鹿市	2,000	10
37	菊池市	1,920	10
38	大津町	520	10
39	菊陽町	40	10
40	合志市	80	10
41	阿蘇市	2,440	10
42	南小国町	160	10
43	小国町	400	10
44	産山村	280	10
45	高森町	1,200	10
46	南阿蘇村	1,260	10
47	西原村	540	10
48	御船町	400	10
49	嘉島町	0	10
50	益城町	120	10

番号	会　員　名	預り寄託金	会　費
51	甲佐町	180	10
52	山都町	3,120	10
53	八代市	0	10
54	氷川町	0	10
55	水俣市	150	10
56	芦北町	120	10
57	人吉市	320	10
58	錦　町	290	10
59	あさぎり町	480	10
60	多良木町	280	10
61	湯前町	90	10
62	水上村	110	10
63	相良村	160	10
64	五木村	30	10
65	山江村	90	10
66	球磨村	120	10
67	天草市	2,340	10
68	上天草市	220	10
69	苓北町	220	10
合　計		388,710	10,660

（2）外部出資

出　　資　　先	金　額（円）
一般社団法人全国肉用牛振興基金協会	9,200,000
公益社団法人中央畜産会	900,000
合　　計	10,100,000

（3）借入金

該当なし

7　許認可・契約等に関する事項

該当なし

8　その他対処すべき課題等

該当なし

第３　事業実績

Ⅰ　地域振興に資する畜産経営体の育成・経営支援及び畜産に関する情報の提供・普及啓発の推進（公益事業１）

（Ⅰ）　畜産の技術指導に関する事業

１　畜産経営技術高度化推進事業（熊本県受託事業）

(1) 事業の実績

畜産経営に対する経営技術指導及び経営管理における的確な対応を効果的かつ効率的に推進することにより、本県の畜産振興に資した。

(2) 事業の内容

ア 専門家集団の設置

(ｱ)構 成 員：熊本県、農業団体等

(ｲ)畜産経営及び畜産情勢に関する調査研究、畜産経営技術改善方策及び具体的な指導手法等の検討

(ｳ)常勤専門家集団：総括畜産コンサルタント等　12人

(ｴ)非常勤専門家集団：県職員、団体職員、税理士等　10人

イ 地域における相談窓口の設置

(ｱ)相談窓口配置数：１か所

(ｲ)相談等の内容　：畜産経営技術指導、畜産コンサルタントの要請等

ウ 畜産経営に対する支援指導の実施

(ｱ)経営改善等支援：経営診断改善指導、経営管理技術指導、生産技術指導等

(ｲ)セミナー、研修会等の開催

エ 畜産経営関係情報の提供

(ｱ)ホームページによる畜産経営関係情報の提供

オ 指導用機器

(ｱ)畜産経営分析支援システムの活用

２　畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会補助事業）

(1) 事業の実績

県からの委託で実施する畜産経営技術高度化推進事業、県産畜産物振興の各協議会との連携及び中央団体からの畜産関連施策、地方競馬を主とする馬事振興普及啓発等の事業を推進した。

(2) 事業の内容

ア 畜産経営の支援体制強化を図るための事業の推進

イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業の推進

ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化

３ 畜産特別支援資金融通事業（畜産特別資金等推進指導事業）
（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

畜産特別資金を必要とする経営体を早期に把握するとともに、畜産特別資金借入者の経営改善指導支援のため、県支援協議会の開催、経営改善計画作成指導・計画達成指導等を通じて、借入者及び融資機関に対して必要な指導支援を図った。

(2) 事業の内容

ア 県支援推進協議会の開催

熊本県畜産経営改善安定推進協議会において指導計画、借入農家の計画・実績等について会議の開催（１回）

イ 融資機関への指導・助言

融資機関　９、指導回数　13回

ウ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導　（単位：戸、回）

	計画作成指導	見直し計画指導	達成指導
指導戸数	2	20	6
指導回数	2	13	4

エ 借入者の経営改善のための指導資料作成

経営改善指導の手引き書　55部作成

オ その他推進事務

全国会議　１回、西日本ブロック会議　１回、ヒアリング　２回

カ 借入者の負債残高等進捗状況調査

融資機関　８、調査戸数　51戸（全借入者）

キ 経営改善の定期的な実績点検調査

上期・下期　年２回、点検戸数　23戸

ク 借入者への指導事項

現地指導　１回

４ 自給飼料推進事業（畜産協会事業）

(1) 事業の実績

本県の自給飼料増産推進を図り、畜産経営のコスト低減及び安定化に寄与した。

(2) 事業の内容

自給飼料基盤の強化、生産性向上、品質向上、飼料生産の組織化、外部化及び熊本型放牧（広域、周年、水田・畑、耕作放棄地）の普及による草資源の有効利用や農地保全、景観保持を図る取組の支援を行った。

５ 家畜防疫・衛生指導対策事業（地域農場 HACCP 認証支援）
（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

県内の農場 HACCP 認証支援に係るシステム構築の支援、強化・維持及び普及を図った。

(2) 事業の内容

ア 地域農場 HACCP 認証構築指導

県内での農場 HACCP 認定に向け、必要書類の作成や検証等のシステム運営についての助言・指導を行い、地域の中核となる農場を育成することで、地域における農場 HACCP 認証の普及を図った。指導農場　５農場

イ 農場 HACCP 普及推進協議会開催

農場 HACCP 認証農場関係者等を講師とした検討会を開催し､普及活動に資した。

６ 地域畜産支援指導等体制強化事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

県内の畜産農家の経営支援のため、研修会の開催や窓口相談活動を実施し、本県の畜産振興に資した。

(2) 事業の内容

ア 専門家派遣の実施

イ 研修会への参加

ウ 窓口相談活動の実施

（Ⅱ） 畜産の経営支援に関する事業

１ 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）
（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

(1) 事業の実績

肉用牛の生産基盤の安定と強化を図るため、遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛や優良な繁殖雌牛の導入支援、繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備、高齢化等に対処する肉用牛ヘルパー組織への支援及び地域の特徴ある肉用牛振興対策等を実施した。

(2) 事業の内容

ア 肉用牛生産基盤強化対策

(ｱ)遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛及び優良な繁殖雌牛の導入を支援した。

導入奨励金は、６万円／頭、９万円／頭（稀少性の高い牛）

57 頭（３集団、30 戸）

(ｲ) 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備を支援した。

繁殖雌牛の増頭数に応じた簡易牛舎の整備又は増築、子牛の健康維持に資する器具機材の導入補助

繁殖・育成牛舎　１棟（１集団、１戸）

(ｳ) 肉用牛ヘルパーの推進を支援した。

肉用牛ヘルパー利用組合が実施する事業に要する補助

支援組合数　３組合

イ 地方特定品種等の振興対策

地方特定品種の特徴を活かした生産や放牧利用等を拡大するための取組を支援した。

(ｱ) あか毛和種の振興

放牧地の利用向上に係る放牧地の整備及び飼料生産・粗飼料多給のための飼料生産等の取組への支援

支援牧野組合数　９

２ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

畜産クラスター事業のうち機械導入事業（リース方式・購入方式）に係る熊本県窓口団体として、関係する事務手続き等を行い、県下各クラスター協議会計画実現と県下地域畜産振興に資した。

(2) 事業の内容

ア 県下各クラスター協議会から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行った。

イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催した。

ウ 取組主体の一部について、検収調書を基に現地調査を実施した。

承認機械件数　261 件、承認補助金額　495 百万円

３ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

（ＩＣＴ化等機械装置等導入事業（畜産ＩＣＴ事業））

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

酪農・肉用牛経営の生産基盤の強化に資するため、ＩＣＴ等の新技術を活用した省力化機器の導入を支援するとともに、スマート農業の推進及び労働時間の削減を加速化し、計画的に省力化・生産性向上を図った。

(2) 事業の内容

ア 畜産ＩＣＴ応援会議から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行った。　承認件数８件、補助金承認総額20百万円

イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催した。

ウ 機械装置の利用状況の確認、労働削減効果を高めるための改善指導等を行った。

エ 必要に応じて中央畜産会からの依頼による現地調査、情報収集、取組による成果等の把握を行った。

4 熊本型放牧高度化支援事業（放牧牛導入）（熊本県補助事業）

(1) 事業の実績

放牧管理の高度化による負担軽減と放牧牛の増頭を支援することで、阿蘇地域の牧野等の畜産的利用の拡大及び放牧を活用したあか牛等の肉用牛生産基盤の強化を図った。

(2) 事業の内容

熊本型放牧拡大のために、農協等の事業主体が放牧実施農家に貸付ける放牧牛（繁殖雌牛）の購入に要する費用の一部を助成した。

放牧牛 100 千円／頭（国 1/2、県 1/2）　28 頭（28 戸）

5 酪農経営支援総合対策事業（酪農労働省力化対策事業（楽酪ＧＯ事業））

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

中小・家族経営を中心とした酪農生産基盤の強化を図るため、労働負担軽減に資する機械装置等の導入と一体的な施設の整備への支援を推進した。

(2) 事業の内容

酪農を営む者に対し、実情に応じた経営体質強化に資する労働負担軽減のための機械装置等の導入と一体的な施設の整備を行うための事業推進を実施したが本年度要望がなかった。

6 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（優良繁殖雌牛更新加速化事業）

（一般社団法人全国肉用牛振興基金協会受託事業）

(1) 事業の実績

肉用牛の生産基盤の強化を図るため、畜産クラスター計画に基づき、取組主体の構成員が高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛への更新を推進した。

(2) 事業の内容

３年後の繁殖雌牛の平均月齢を低下させることを目指し、令和７年１月～12 月に高齢和牛の繁殖雌牛を出荷し、優良な繁殖雌牛へ更新した農家を対象に、更新実績に応じた奨励金を交付する事業のとりまとめ及び事業推進を行った。

ア　更新実績及び奨励金交付頭数

取組主体数（団体）	高齢繁殖雌牛更新頭数（頭）	交付対象者数（戸）	奨励金単価別頭数（頭）			奨励金の額（円）
			10万円/頭以内	15万円/頭以内	計	
11	618	228	559	48	607	63,100,000

イ　事業推進

事業実施計画に基づき、取組主体が行う事業を円滑に推進した。

7 畜産経営災害等総合対策緊急支援事業（肉用牛経営災害緊急支援対策事業）（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

(1) 事業の実績

災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機械の稼動のための支援を行うことにより、畜産経営体の経営継続を推進した。

(2) 事業の内容

生産者集団等が災害等による停電時における畜産経営体の経営継続のため、家畜の生命維持に要する機械の稼動のため、次に揚げる取組の実施に要する経費を支援した。

ア　経営継続支援対策

(ｱ) 牛舎、飼養管理の附帯施設及び機械の補改修等（１戸）

(ｲ) 簡易牛舎等の整備（対象なし）

(ｳ) 緊急避難等支援（１戸）

(ｴ) 繁殖に供する雌牛の導入支援（対象なし）

(ｵ) 電力確保支援（対象なし）

(ｶ) 飲料水等の確保支援（対象なし）

(ｷ) 非常用電源の整備（対象なし）

イ　経営継続支援対策の推進

(Ⅲ) 畜産に関する調査研究及び情報提供に関する事業

1 公庫資金活用推進事業（課題解決サポート事業）（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

畜産農家が公庫資金を活用し、安定的な経営展開に資するよう、情報提供を行った。

(2) 事業の内容

公庫資金を借入した畜産経営体の中で、借入時の経営計画の達成が低い経営体について、経営課題、経営改善状況等を調査し、その改善計画の作成支援及びこれに基づく助言等を行う計画であったが、本年度申込がなかった。

2 貸付事業指導等事業（公益財団法人畜産近代化リース協会受託事業）

(1) 事業の実績

畜産近代化リース協会貸付事業において、貸し付けられた機械施設の適正な導入の確認と効率的な活用を図るための指導等を行い、同事業を推進した。

(2) 事業の内容

ア 貸付機械施設の確認及び管理状況についての調査

イ 貸付機械施設の適正な利用についての技術指導

ウ 物件検収基数　68基

3 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

（畜産クラスター全国推進事業（畜産クラスターに係る実態調査））

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1)事業の実績

畜産経営体等の経営内容に係る調査を行い、畜産クラスターの中心的な経営体の育成に必要な指標作りを行った。

(2)事業の内容

本県酪農家、肉用牛繁殖農家及び肥育農家の事例 11 戸の実態調査を行い、中央畜産会に報告した。

4 畜産経営技術指導事業（生産技術情報提供事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1)事業の実績

家畜の生産技術指導に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータ収集を行い、その分析結果に基づき助言指導を実施した。

(2)事業の内容

ア 前年及び当年の家畜生産性に係るデータの収集の実施

イ 成績に関する考察と分析の実施

ウ 分析結果に基づき助言指導の実施

5 畜産物輸出対応生産円滑化事業

（一般社団法人日本畜産物輸出促進協議会受託事業）

(1)事業の実績

県畜産行政と緊密な連携のもと、輸出先国の規制に沿った飼養衛生管理やアニマルウェルフェアへの対応など、畜産物輸出に対する生産者の理解醸成を図った。

(2)事業の内容

ア 輸出機関へ輸出啓発資材の配布及びアンケート調査を実施した。

イ 輸出相談窓口を設置した。

6 飼料作物の生産・利用の地域モデル実証事業

（一般社団法人日本草地畜産種子協会受託事業）

(1)事業の実績

地域のコントラクター等が核となって水田を活用して青刈りトウモロコシ等の生産・利用を行う地域モデルの実証に取り組む経営体（飼料生産者、コントラクター等）の持続性・収益性等に関する調査・分析を行った。

(2)事業の内容

ア 農研機構と連携し「地域モデル分析等分析報告書」を作成した。

イ 成果報告会の総合討論において、関係者間での意見交換・討論を行い、今後の運営改善及び持続的な事業展開に向けた共通認識の醸成を図った。

7 畜産経営高度化指導推進事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1)事業の実績

畜産会組織の重点的な経営指導実践に資するモデル経営設計指標及び経営指導力向上のため、畜産経営指標活用指導資料の作成に必要な経営事例調査を実施した。

(2)事業の内容

ア 経営属性に関する調査（経営者と経営の概況、管理技術の内容）

イ 経営・生産技術成績等に関する調査

ウ 調査件数

酪農	肉用牛繁殖	肉用牛肥育	養豚	合計
2戸	5戸	2戸	1戸	10戸

8 あか牛魅力創造情報提供事業（熊本県受託事業）

(1)事業の実績

あか牛の特徴をより判りやすく消費者等に訴求するため、Web システムによる情報提供体制の構築を図った。

(2)事業の内容

ア あか牛の GI 認定作業の推進とあか牛 PR 活動に連動した情報提供体制の構築・連携について検討した。

イ あか牛の魅力向上に資する消費者向けの Web ページを作成した。

Ⅱ　国民生活の安全安心に資する家畜衛生対策の推進　（公益事業２）

（Ⅰ）家畜伝染性疾病の予防接種及び予防措置に関する事業

１ 家畜生産農場衛生対策事業（国補助事業）

(1) 事業の実績

畜産経営に及ぼす影響が大きい家畜伝染病について、予防接種、抗体検査及び患畜同居家畜の自主とう汰への補助を実施することにより、家畜伝染病の予防又はまん延防止を図った。

(2) 事業の内容

ア ヨーネ病早期清浄化防疫推進事業

ヨーネ病自主とう汰　１頭

イ ＥＢＬ対策事業

高リスク牛とう汰　０頭

ウ ＢＶＤ-ＭＤ対策事業

ＰＩ牛自主とう汰　８頭

エ 牛サルモネラ症対策

サルモネラ検査 285 頭

ワクチン接種補助 6,199 頭

オ 地域慢性疾病対策事業

豚のＰＲＲＳ検査 46 頭

カ 疾病流行防止支援対策事業

牛異常産ワクチン接種頭数 34,010 頭

２ 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国補助事業）

事業の実績

死亡牛の BSE 検査は実施されず、実績はなかった。

３ 熊本県自衛防疫強化総合対策事業（特定疾病損耗防止推進事業）

（熊本県補助事業）

(1) 事業の実績

畜産経営に及ぼす影響が大きい家畜伝染病について、予防接種を実施した。

(2) 事業の内容

ア 特定疾病損耗防止推進事業　　92,233 頭

牛流行性感冒、牛伝染性鼻気管炎、牛アカバネ病の発生予防に寄与した。

4 育成馬等予防接種推進事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

馬伝染病予防のため、馬飼養農家の申請により予防接種を実施した。

(2) 事業の内容　（単位：頭）

区　　分	接種頭数	備　考
1歳馬三種基礎接種	54	2回接種
1歳馬三種補強接種	18	
1歳馬インフルエンザ追加接種	3	
2歳馬日本脳炎補強接種	0	
合　　計	75	

5 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

馬伝染病予防のため、馬飼養農家の申請により予防注射を実施した。

(2) 事業の内容

ア 馬鼻肺炎生ワクチン　86頭

イ 馬インフルエンザ　1,020頭

（Ⅱ）畜産物の生産・衛生の指導及び調査に関する事業

1 熊本県自衛防疫強化総合対策事業（自衛防疫推進事業）（熊本県補助事業）

(1) 事業の実績

市町村及び関係団体と連携し、家畜自衛防疫の強化・推進を図った。

(2) 事業の内容

ア 家畜自衛防疫事業推進会議　2回

イ 地域推進会議　5か所（各地区家畜自衛防疫促進協議会）

ウ 事業需要等調査・広報

2 馬飼養衛生管理特別対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

馬の飼養農家や指導者の衛生管理技術の向上のため、関係者に対し講習会や調査を行った。

(2) 事業の内容

ア 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催

イ 馬飼養衛生管理技術講習会の開催

ウ 地域馬獣医療実態調査

3 家畜防疫・衛生指導対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

地域の自衛防疫活動強化のため、行政・関係機関と連携し、防疫演習等を実施した。また、各県畜産協会と情報交換を行い、事業の円滑な推進を図った。

(2) 事業の内容

ア 生産者段階における「防疫演習」の実施を支援した。

イ 九州ブロック協議会に参加し、情報交換を行った。

(Ⅲ) 家畜伝染性疾病の予防徹底のための経営支援に関する事業

1 家畜防疫互助基金支援事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

家畜伝染病発生時におけるまん延防止のための家畜の淘汰及びこれに伴う農家の経営再建を支援するため、農畜産業振興機構と農家が拠出した基金を活用した交付金交付に向けた準備を行った。

事業参加養豚農家に対し、国内豚熱発生が散発、生産者積立資金が枯渇するおそれがあったため、積立金追加納付を依頼、回収した。

(2) 事業の内容

ア 家畜防疫互助等推進

(ｱ) 推進会議の開催

(ｲ) 生産者等に対する事業の普及・指導・連絡調整

イ 新規加入の推進（事業対象年間　令和６～８年度）

加入状況（令和８年４月末現在）

家畜の種類	飼養戸数	加入戸数	加入率	積立金額(円)
乳用牛	423 戸	426 戸	100%	8,495,415
肉用牛	1,848 戸	1,806 戸	97%	21,162,630
豚	129 戸	78 戸	60%	28,156,236
計	延 2,400 戸	延 2,310 戸	96%	57,814,281

※飼養戸数は県畜産統計（R7.2.1）

(Ⅳ) 畜産経営の環境保全に関する事業

1 畜産環境保全指導事業（畜産協会事業）

(1) 事業の実績

畜産経営や地域の環境保全を目的として、畜産農家や関係者に対して、セミナー等を行った。

(2) 事業の内容

熊本県耕畜連携推進協議会事務局員として、以下に取組んだ。

ア 堆肥づくりスキルアップセミナー

イ 堆肥コンクール

（Ⅴ）獣医師等の育成支援に関する事業

１ 獣医師養成確保修学資金給付事業（国及び熊本県補助事業）

(1) 事業の実績

家畜伝染病の予防・まん延防止や食品衛生を担う産業動物獣医師や行政獣医師の育成を目的として、獣医学を専攻する学生に修学資金を給付した。

(2) 事業の内容

ア 産業動物獣医師及び県家畜保健衛生所等獣医師の養成

10名（継続９名　新規１名）

イ 県公衆衛生獣医師の養成

６名（継続５名　新規１名）

Ⅲ　国民生活の物価安定に資する畜産物価格安定対策の推進（公益事業３）

（Ⅰ）肉用子牛の価格差補てんに関する事業

１ 肉用子牛生産者補給金制度　（業務対象年間　令和７～11 年度）

（独立行政法人農畜産業振興機構及び熊本県補助事業）

(1) 事業の実績

肉用子牛の価格が低迷し、保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図った。

(2) 生産者補給金交付契約締結状況（令和８年３月 31 日時点）　（単位：人）

経営分類	契約者区分							
	個人	農協	農協連	農事組合法人	合名合資	株式会社	有限会社	総計
繁　殖	1,438	1	0	5	0	32	10	1,486
酪　農	47	0	0	0	0	4	13	64
一　貫	83	0	0	0	1	30	4	118
哺　育	10	0	0	0	0	2	0	12
計	1,578	1	0	5	1	68	27	1,680

(3) 事務委託先

16 団体（内訳：農協連合会２・総合農協６・専門農協７・その他１）

(4) 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳（令和７年）　（単位：頭）

品種区分	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月	7 年合計	前年実績	前年対比（%）
黒毛和種	6,882	6,515	6,342	6,002	25,741	27,426	94%
褐毛和種	1,136	960	1,096	1,021	4,213	4,120	102%
その他の肉専用種	0	0	1	0	1	1	－
乳用種	231	165	155	122	673	691	97%
乳交雑種	2,178	1,884	1,558	970	6,590	7,487	88%
計	10,427	9,524	9,152	8,115	37,218	39,725	94%

(5) 生産者積立金単価及び負担額（令和７年度）　（単位：円）

品種区分	生産者負担金	生産者積立助成金		生産者積立金合計
	生産者（１／４）	機構（１／２）	県（１／４）	
黒毛和種	400	800	400	1,600
褐毛和種	1,500	3,000	1,500	6,000
その他の肉専用種	5,000	10,000	5,000	20,000
乳用種	1,250	2,500	1,250	5,000
乳交雑種	600	1,200	600	2,400

(6) 保証基準価格及び合理化目標価格（令和７年度）　（単位：円）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	乳交雑種
保証基準価格	574,000	523,000	334,000	164,000	274,000
合理化目標価格	446,000	406,000	259,000	110,000	216,000

(7) 平均売買価格（令和７年）　（単位：円）

品種区分	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月	令和８年 1-3 月
黒毛和種	589,700	650,900	647,800	715,500	804,000
褐毛和種	670,700	621,100	610,600	652,900	709,800
その他の肉専用種	278,100	注　386,500			
乳用種	205,200	254,700	220,600	218,000	241,300
乳交雑種	389,400	382,500	392,800	448,500	468,900

注：「その他肉専用種」の算定期間が令和２年度から年度（４月～３月）に変更

(8) 生産者補給金交付状況（令和７年）　（単位：頭、円）

品種区分	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月	合計
黒毛和種	－	－	－	－	－
褐毛和種	－	－	－	－	－
その他の肉専用種	(49,900) 1 49,900	注			1 49,900
乳用種	－	－	－	－	－
乳交雑種	－	－	－	－	－
計	1 49,900	－	－	－	1 49,900

※（ ）内は交付金単価、中段(計の欄の上段)は交付頭数、下段は交付金額

注：「その他肉専用種」の算定期間が令和２年度から年度（４月～３月）に変更されたため、表中では翌年１－３月期に表記する。

(9)生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況（令和７年）

（単位：円）

区分 ＼ 保証基準価格の品種区分				黒毛和種	褐毛和種	その他肉専	乳用種	乳用交雑種	合　計
(1) 期首残高	①生産者積立金			0	0	0	0	0	0
	②生産者積立準備金			690,134,669					690,134,669
	内訳	③生産者の負担金充当分		315,957,999					315,957,999
		④都道府県の生産者積立助成金充当分		124,725,556					124,725,556
		⑤機構の生産者積立助成金充当分		249,451,114					249,451,114
(2) 生産者積立金積立実績	⑥生産者積立金純増加額 （⑨+⑫+⑮+⑱）			34,779,606	20,220,221	20,000	3,672,300	16,302,823	74,994,950
	⑦生産者積立準備金からの繰入額（⑩+⑬+⑯）			6,405,994	5,057,779	0	108,500	1,255,577	12,827,850
	⑧　計			41,185,600	25,278,000	20,000	3,780,800	17,558,400	87,822,800
	内訳	生産者	⑨負担金	3,890,406	1,261,721	5,000	836,700	3,134,023	9,127,850
			⑩生産者積立準備金（③からの繰入金）	6,405,994	5,057,779	0	108,500	1,255,577	12,827,850
			⑪小計	10,296,400	6,319,500	5,000	945,200	4,389,600	21,955,700
		都道府県	⑫生産者積立助成金	10,296,400	6,319,500	5,000	945,200	4,389,600	21,955,700
			⑬生産者積立準備金（④からの繰入金）	0	0	0	0	0	0
			⑭小計	10,296,400	6,319,500	5,000	945,200	4,389,600	21,955,700
		機　構	⑮生産者積立助成金	20,592,800	12,639,000	10,000	1,890,400	8,779,200	43,911,400
			⑯生産者積立準備金（⑤からの繰入金）	0	0	0	0	0	0
			⑰小計	20,592,800	12,639,000	10,000	1,890,400	8,779,200	43,911,400
		その他	⑱生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産	0	0	0	0	0	0
(3) 他の資金からの繰入状況等	⑲特別の積立金から生産者積立金へ繰入れた金額			0	0	0	0	0	0
	⑳調整積立金から生産者積立金へ繰入れた金額			0	0	0	0	0	0
	㉑生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額			0	0	0	0	0	0
	㉒生産者積立金に係る運用果実			0	0	0	1,830	0	1,830
	㉓他資金から生産者積立金への繰入額			0	0	0	0	0	0
	㉔生産者補給交付額　（㉑を含む）			0	0	0	0	0	0
	㉕生産者積立金からの借入金返済額			0	0	0	0	0	0
	㉖他の資金からの繰入れによる借入金返済額			0	0	0	0	0	0
	㉗生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額			0	0	0	0	0	0
	㉘生産者積立準備金に係る運用果実			790,598					790,598
	㉙生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額			0					0
	㉚生産者積立準備金からの返還額（生産者分）			61,258,370					61,258,370
	㉛生産者積立準備金からの返還額（都道府県分）			124,889,717					124,889,717
	㉜生産者積立準備金からの返還額（機構分）			249,652,232					249,652,232
(4) 期末残高	㉝生産者積立金（①+⑧+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓-㉔-㉕-㉖-㉗）			41,185,600	25,278,000	20,000	3,782,630	17,558,400	87,824,630
	㉞生産者積立準備金（②-⑦+㉗+㉘-㉙-㉚-㉛-㉜）			242,297,098					242,297,098
	内訳	㉟生産者の負担金充当分		242,297,098					242,297,098
		㊱都道府県の生産者積立助成金充当分		0					0
		㊲機構の生産者積立助成金充当分		0					0

２ 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

(1) 事業の実績

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適切かつ円滑な実施体制の確保及び肉用子牛生産者補給金の交付事務処理の高度化を図った。

(2) 事業の内容

ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度運営適正化のために次の項目の充実を図った。

(ｱ) 肉用子牛の個体識別と個体登録

(ｲ) 肉用子牛の販売、保留及び異動確認

(ｳ) 家畜市場データの収集、整理、送信、集計、分析

(ｴ) 電算処理システムの整備

(ｵ) 業務推進会議の開催

(ｶ) 現地調査指導など

イ 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な推進を図り、肉用子牛生産の安定並びに肉用牛経営の安定的発展に資した。

ウ 肉用子牛の取引状況の調査報告

指定肉用子牛の取引結果を算出するため、県内指定市場を対象に出荷子牛の日齢・体重・取引価格等について調査し、その結果を農畜産業振興機構に報告した。

また、電算処理による分析に基づき「熊本県の肉用子牛市場調査」として取りまとめ、関係機関、団体等に配布した。

※本県の指定家畜市場　２か所（熊本県家畜市場、球磨家畜市場）

３　優良和子牛生産推進緊急支援事業

（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

(1) 事業の実績

肉用子牛の価格が大幅に下落し、生産者の経営環境が悪化しており、生産者の意欲低下により肉用牛生産基盤の弱体化が懸念されるため、飼養管理の向上に取り組む和子牛生産者を緊急的に支援した。

(2) 事業の内容

市場等で取引される和子牛のブロック別平均価格が、発動基準を下回った場合に、飼養管理向上のための取組メニューを行う生産者が販売した和子牛に対して、奨励金交付を予定していたが、発動基準を下回らなかったため交付はなかった。

ア　発動基準

発動基準（税込）	黒毛和種	61 万円	59 万円	58 万円
	褐毛和種	56 万円	54 万円	53 万円
	その他の肉専用種	36 万円	34 万円	―
必 要 取 組 数		2	3	4
奨 励 金 単 価		1 万円/頭	2 万円/頭	3 万円/頭

イ　飼養管理向上のための取組メニュー

母子共通メニュー	子牛メニュー	母牛メニュー
・飼料効率の改善 ・添加物による栄養補助 ・駆虫・防虫対策 ・寒冷・暑熱対策 ・牛体管理の徹底	・疾病防止のワクチン接種 ・疾病の早期治療 ・栄養状態を強化する人工哺乳	・疾病防止のワクチン接種 ・発情発見機等の活用 ・高度な栄養管理

※１　黒毛和種は、北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の４ブロックとし、全国平均に対して著しく高い価格となっている都道府県については、ブロック別平均価格の計算から除外し、単独で平均価格を計算

※２　褐毛和種及びその他の肉専用種は全国１ブロック

４　和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業

（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

(1) 事業の実績

枝肉価格の低下や飼料価格の高止まり等により、子牛価格が低下し、繁殖農家の生産基盤が危機的状況にあることから、和子牛産地の基盤強化につながる取組を支援することにより、意欲ある生産者の経営の継続・発展に資する環境整備を行った。

(2) 事業の内容

肉用子牛の品種区分毎のブロック別平均価格が、発動基準（下表）を下回った場合に、「和子牛産地基盤強化計画」を作成した地域において、産地基盤強化に資する取組メニュー（下表）のうち１つ以上行う生産者に対して、販売・自家保留頭数に応じた奨励金１万円/頭（離島等は５万円/頭）の交付を予定していたが、発動基準を下回らなかったため奨励金交付はなかった。

品種区分	発動基準	取組メニュー
黒毛和種	６１万円未満	①　地域内自給飼料の生産・利用
褐毛和種	５６万円未満	②　早期出荷に向けた地域内一貫生産
その他の肉専用種	３６万円未満	③　需給に応じた生産

※１　黒毛和種は、北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の４ブロックとし、全国平均に対して著しく高い価格となっている都道府県については、ブロック別平均価格の算定から除外し、単独で平均価格を計算

※２　褐毛和種及びその他の肉専用種は全国１ブロック

※３　「離島等」は、離島振興法第２条第１項の規定により指定された離島振興対策実施地域、沖縄県、鹿児島県奄美市及び同県大島郡

（Ⅱ）肉用牛肥育経営の所得補てんに関する事業

１　肉用牛肥育経営安定交付金制度（事業対象期間：令和７年度～令和９年度）

（独立行政法人農畜産業振興機構受託事業）

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務

ア 事業の実績

肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務の円滑な実施を図るため、機構から事務を受託し、制度の普及及び交付に係る申請事務等の業務を実施した。

イ 令和７年度の実績

(ｱ) 契約者数　263戸

(ｲ) 個体登録頭数　（単位:頭）

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭　　数	22,597頭	8,979頭	450頭	32,026頭

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

ア 事業の実績

交付契約を締結した生産者に対して、肥育牛補填金の交付に要する資金として、肥育安定基金を造成し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、差額の９割を機構の交付金と併せて補填金を交付した。

イ 令和７年度の契約肥育牛１頭当たりの生産者負担金の単価（熊本県）

肉専用種	交雑種	乳用種
11,000 円	17,000 円	18,000 円

Ⅳ　畜産経営の安定に資する家畜の改良・登録の推進（その他事業１）

（Ⅰ）登録事業

登記・登録は、家畜の改良増殖の基礎であり、関係機関の協力を得て、その必要性を周知徹底し推進に努めた。また、体型・肉質の優れた系統の選抜並びに増頭に取り組むとともに、下記のとおり登記・登録を行った。

黒　毛　和　種　　（単位：人、頭）

登記・登録の種類	令和６年度	令和７年度	対前年比（%）
会　　員	1,457	1,316	90.3
高　等　登　録	33	36	109.1
本　原　登　録	724	799	110.4
基　本　登　録	2,165	2059	95.1
子　牛　登　記	25,077	24,449	97.5

褐　毛　和　種　　（単位：人、頭）

登記・登録の種類	令和６年度	令和７年度	対前年比（%）
会　　員	627	649	103.5
育種高等登録	23	38	165.2
産　肉　登　録	13	6	46.2
繁　殖　登　録	819	863	105.4
子　牛　登　記	4,740	4,917	103.7

種　　豚　　（単位：頭）

登記・登録の種類	令和６年度	令和７年度	対前年比（%）
種　豚　登　録	534	522	97.8
子　豚　登　記	810	827	102.1
交　雑　証　明	10	10	100

重　種　馬　　（単位：頭）

登記・登録の種類	令和６年度	令和７年度	対前年比（%）
繁　殖　登　録	39	46	117.9
血　統　登　記	145	147	101.4

※黒毛和種は、公益社団法人全国和牛登録協会熊本県支部
　褐毛和種は、日本あか牛登録協会熊本県支部の事業として実施

（Ⅱ）改良事業

1 改良推進事業

国・県並びに県連等が推進する改良増殖諸事業に積極的に参画し,本県家畜の改良増殖の促進に努めた。

2 養豚振興事業

登録事業を推進し、種豚の能力向上や維持確保に努めた。

3 重種馬振興事業

重種馬の生産率向上を図るため種雄馬管理指導を行うとともに、人工授精利用等繁殖技術の向上に努めた。

4 集団活動への支援

各地域における改良組合、グループ活動に対して支援を行った。

5 共進会、品評会

県内で開催される各種共進会、品評会の上位入賞家畜を表彰し、会員の改良意欲の高揚に努めた。

6 第 13 回全国和牛能力共進会への対応

令和９年に北海道で開催される第 13 回全国和牛能力共進会に向けて、関係機関と連携して取組みを進めた。

7 一般社団法人日本あか牛登録協会（熊本県支部を含む）に係る事業協力

（1）畜産生産力・生産体制強化対策事業

① 家畜能力等向上強化推進のうち多様な改良情報の収集・分析（肉用牛改良情報活用協議会分担事業）

ア 事業の実績

枝肉情報の提供・利用に同意した肥育農家から出荷された格付情報に対応する登記情報の内容をチェックし、精度の高い情報として収集するとともに、関係機関等に提供した。

血統情報を収集分析するための会議の開催、種雄牛案内の冊子を配布した。

イ 事業の内容

熊本系褐毛和種血統情報の収集に相当する業務及びそれに付帯する業務を行った。

② 家畜能力等向上強化推進のうち地域固有系統の再構築等支援対策（一般社団法人日本あか牛登録協会事業）

ア　事業の実績

新規繁殖登録牛からＤＮＡ試料の採取とＳＮＰ情報の解析を行うことで、あか牛雌集団の遺伝的構造解析を行い、集団の遺伝的多様性の維持及び近交係数上昇抑制の手法の検討に努めた。

イ　事業の内容

あか牛の改良用雌牛群、新規繁殖登録牛及び種雄牛候補となる雄子牛等のＤＮＡ試料の採取とＳＮＰ情報の解析を行い、得られたデータを基にあか牛集団の遺伝的構造分析を実施し、当該構造分析結果に基づく集団内の系統分類手法の確立を進めた。

（２）持続的な褐毛和種の生産・改良システム開発事業

（国立大学法人宮崎大学受託事業）

ア　事業の実績

褐毛和種について、肥育牛からＤＮＡ試料の採取と血統・繁殖情報の提供を行い、関係団体と協議し、ゲノミック評価の検証に努めた。

イ　事業の内容

熊本系褐毛和種の繁殖雌牛及び肥育牛のＳＮＰ情報収集、改良形質情報の収集システム構築事業、成果の普及を進めた。

Ⅴ　会員や関係団体と連携した畜産振興の推進（その他事業２）

各種協議会の事務局並びにイベントへの職員派遣や、行政と団体間との調整役を果たすこと等により、県畜産の生産振興や県産畜産物のＰＲと消費拡大に寄与する。

１ 熊本県産牛肉消費拡大推進協議会事業

（熊本県産牛肉消費拡大推進協議会受託事業）

熊本県産牛肉消費拡大推進協議会の事務局事務を実施した。

実績：県内畜産関係団体の相互協調により、熊本県産牛肉の流通・消費拡大を図り、熊本県畜産の安定的発展に寄与した。

会員：熊本県、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県畜産農業協同組合、熊本県酪農業協同組合連合会、熊本県食肉事業協同組合連合会、肥後開拓農業協同組合、熊本畜産流通センター、熊本県農業協同組合中央会、(公社)熊本県畜産協会

２ 熊本県養豚協会事業（熊本県養豚協会受託事業）

熊本県養豚協会の事務局事務を行った。

実績：本県における養豚事業の着実な発展と養豚振興を図るため、養豚経営に関する調査研究や講習会を実施するとともに、養豚に関する情報の収集及び提供を行った。

会員：県内養豚農家　59 会員　　賛助会員：養豚関係団体等　55 会員

３ 熊本県枝肉共進会実行委員会事業（熊本県枝肉共進会受託事業）

実績：熊本県における家畜の資質向上及び肉質改善を推進し、生産者の意欲向上と畜産経営の安定を図るとともに、安心・安全な畜産物の供給と消費拡大に資することを目的として開催される熊本県枝肉共進会の事務局事務を担当した。

会員：熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県畜産農業協同組合、(公社)熊本県畜産協会、熊本県畜産課（オブザーバー）

４ 馬事畜産振興推進事業(馬事畜産振興協議会受託事業)

馬事畜産振興協議会からの委託により、関係団体等と連携し、地方競馬の支援、畜産や県産畜産物の普及・啓発を推進した。

実績

・佐賀競馬場において、冠レースを実施し賞状・副賞を授与した。

・BAOO 荒尾において､畜産フェアーを開催し入場者増加と畜産振興に資した。

・家畜が係わる伝統行事を実施する団体に対し、当該行事の保存及び活性化に向けた支援を行った。

・競馬現地研修を開催した。

・九州の畜産協会と連携して地方競馬ミルクウィークを開催し、牛乳・乳製品の消費拡大を図った。

5 熊本県養鶏協会事業（熊本県養鶏協会受託事業）

熊本県養鶏協会の事務局事務を行った。

実績：本県における養鶏事業の堅実な発展を促進し、養鶏振興を図るため、日本養鶏協会事業の推進、養鶏農家の技術向上及び疾病の発生防止に係る研修会の実施、鶏卵の普及・啓発活動を行った。

会員：県内養鶏農家　32 会員

6 地域畜産フェア拡大推進事業（馬事畜産振興協議会補助事業）

県内の生産者と消費者の交流の場として地域畜産フェア等のイベントに参加し、県内の消費者に対して地域畜産物の理解を深めるとともに、消費者に対して地方競馬の畜産振興等への貢献について周知を図った。

実績：くまもと農業フェアにて、県内の畜産物（卵・加工食品）と競馬・畜産の普及啓発グッズを配布するとともに、アンケートを実施し、回答者を対象に抽選で県産畜産物を贈呈した。これらの取組により、県産畜産物の普及啓発と消費拡大を図った。